

■ 展覧会スケジュール 2026(令和8)年4月 - 2027(令和9)年3月

月	2026 令和8 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027 令和9 1	2	3						
企画展	開館20周年記念 奥田元宋展 一小由女作品とともに 4月23日(木)～6月21日(日)			MINIATURE LIFE展 田中達也 見立ての世界 7月4日(土)～8月20日(木)		「木梨憲武展—TOUCH」 SERENDIPITY —意味ある偶然 8月29日(土)～10月11日(日)		ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 —草間彌生、ヘイター and more 10月22日(木)～2027年1月5日(火)			かたわらには、 いつもネコ展 —猫でたどる日本の イラストレーション 2027年2月18日(木) ～4月13日(火)							
常設展	令和8年度第1期 6月25日(木)～9月15日(火)												令和8年度第2期 9月17日(木)～12月15日(火)			令和8年度第3期 12月17日(木)～2027年3月16日(火)		
満月夜間 開館日	2日(木)	2日(土) 31日(日)	30日(火)	29日(水)	28日(金)	中秋の名月 25日(金) 満月 27日(日)	26日(月)	24日(火)	24日(木)	—	—	22日(月・祝)						
休館日	1日(水) 8日(水) 15日(水) ～22日(水) 30日(木)	7日(木) 13日(水) 20日(水) 27日(水)	3日(水) 10日(水) 17日(水) 22日(月) ～24日(水)	1日(水) 8日(水) 15日(水) 22日(水) 30日(木)	5日(水) 26日(水)	2日(水) 9日(水) 16日(水) 24日(木) 30日(水)	7日(水) 14日(水) 21日(水) 28日(水)	4日(水) 11日(水) 18日(水) 25日(水)	2日(水) 9日(水) 16日(水) 23日(水)	6日(水) 13日(水) 20日(水) 27日(水)	3日(水) 10日(水) 17日(水) 24日(水)	3日(水) 10日(水) 17日(水) 24日(水) 31日(水)						

※休館日は毎週水曜日。但し、原則として水曜日が祝日または満月の場合は開館、翌平日休館。※令和8年2月14日現在。会期及び展覧会の名称は変更となる場合があります。定例以外に休館する場合があります。

■ 企画展

開館20周年記念
奥田元宋展 一小由女作品とともに
4月23日(木)～6月21日(日)

開館20周年を記念し、日本画家・奥田元宋の画業を振り返るとともに、関連作家の作品を展示し、日本画における風景画の変遷を紹介し、また、夫婦ともに文化勲章受章の奥田元宋・奥田小由女の作品の響き合いもご覧いただく展覧会です。



奥田元宋「煌嶽」
(1990年／紙本彩色／奥田元宋・小由女美術館蔵)

MINIATURE LIFE展
田中達也 見立ての世界
7月4日(土)～8月20日(木)

ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也が作り出す、小さく独創的な見立ての世界は日本のみならず世界中の多くの人々を魅了しています。ミニチュアの写真パネル、実物をはじめ、自分がミニチュアになったかのような写真が撮れる巨大なオブジェや思わず写真を撮りたくなるようなフォトスポットなどを展示します。



新パン線 ©Tatsuya Tanaka

「木梨憲武展 —TOUCH」
SERENDIPITY —意味ある偶然
8月29日(土)～10月11日(日)

国内で幾多の個展を開催し、2度の海外個展を成功させるなど、国内外からアーティストとして高い評価を受けている木梨憲武。自由な表現と鮮やかな色彩で描かれた絵画や、様々な素材を用いたコラージュや立体作品をはじめ、展覧会タイトル「TOUCH」の通り、触れて楽しめる作品まで、多彩な作品を紹介します。



ラブ! ヴァンガード!!
前衛を愛した、あるコレクターの眼 —草間彌生、ヘイター and more
10月22日(木)～2027年1月5日(火)

「Wコレクション」は、一人のコレクターの独自の審美眼と価値観に基づき、革新的な技法や独創的な表現でアートの先端を切り拓いてきた作家の作品を蒐集した、ユニークなコレクションです。本展では、その作品収集の原点となった20世紀版画界の巨匠スタンリー・ウィリアム・ヘイターから、具体美術協会、河原温、山下菊二、山田正亮、奈良美智など日本の戦後美術における様々な「ヴァンガード」を経て、草間彌生へとたどり着いたコレクターの「歩み」と、その「眼識」に迫ります。

かたわらには、いつもネコ展
—猫でたどる日本のイラストレーション
2027年2月18日(木)～4月13日(火)

明治以降、子ども向けの雑誌や絵本に登場してきた「猫」のイラストレーションに着目し、日本の絵本100年のあゆみをダイジェストにたどりつつ、今も新たな創作が生み出されている「猫」絵本の多様な表現世界を紹介します。



宇野亞喜良《2ひきのねこ》表紙原画 2017年 ©AQUIRAX